

2015年1月21日発信

報道関係者各位

ミャンマーに「日本研究・日本語教育」拠点を開設

TUFS スーパーグローバル構想 Global Japan Office 第1号 10年後には38拠点へ

東京外国語大学 (TUFS) は、TUFS スーパーグローバル大学構想における「日本から世界への発信力の強化」「大学グローバル化支援」を担うため、主要な海外協定校に「日本研究・日本語教育」の拠点となる「Global Japan Office」を設置していきます。このたび、その第1号として、2015年1月にヤンゴン大学 (在ミャンマー) に同オフィスを開設することになりました。



Global Japan Office ロゴ

昨今、日本企業のミャンマー進出が著しく、2014年12月には、ヤンゴン日本人商工会議所 (JCCY、在ミャンマー) の会員数が200社に達しました。同会員数はこの1年半で倍増したことになります。一方、ミャンマーにおいて日本語教育をおこなっている高等教育機関は、ヤンゴン外国語大学とマンダレー外国語大学の2校のみです。

このたび本学がオフィスを設置するヤンゴン大学は、英国領時代の1920年に創立され、2014年現在、全20学部 (文学部系12学部、理学部系8学部) を擁し、ミャンマー政府が指定する強化大学にも選ばれた最高水準の学術研究・教育機関です。本学からも4名の学部生・大学院生が留学中です。

オフィスは同大学国文学部の建物内に設置され、奥平龍二 本学名誉教授 (ビルマ法制史) が特任教授としてオフィスの運営にあたります。日本から日本語教師を派遣し、日本からの留学生や日本をめざす現地学生の留学サポートをするほか、日本語や日本紹介に関する授業 (課外授業) の開講を予定しており、数十名の受講生を見込んでおります。日本研究・日本語教育の実施拠点として、現地ネットワーク拠点の役割も担っていく予定です。

2015年1月30日 (金) にヤンゴン大学にて開所式を開催いたします。詳細は別紙をご覧ください。

(添付資料: ヤンゴン Global Japan Office 開所式次第、東京外国語大学長メッセージ、立石学長略歴、奥平特任教授略歴)

<Global Japan Office 概要>

1. 日本研究・日本語教育の実施拠点
 2. Joint Education Program のコーディネート拠点
 3. 日本語教育学生のインターンシップ拠点
 4. 本学学生・院生のボランティア拠点
 5. 現地で学ぶ日本人留学生や日本をめざす現地学生への情報提供拠点
- などとして活用されます。

<今後 Global Japan Office 開設計画 (38 拠点) >

2015年3月 淡江大学 (在台湾)

2015年度以降 (順不同) 東アジア: 韓国外国語大学校 (韓国) / 寧波大学 (中国)、ロシア・中央アジア: モスクワ国際関係大学 (ロシア) / タシュケント国立東洋学大学 (ウズベキスタン)、東南アジア: ハノイ国家大学 (ベトナム)、南アジア: ダッカ大学 (バングラデシュ)、北米・欧州: エアランゲン・ニュルンベルグ大学 (ドイツ)、ベオグラード大学 (セルビア)、ラテンアメリカ: リオ・デ・ジャネイロ州立大学 (ブラジル)、中東・アフリカ: ザンビア大学 (ザンビア)、アンカラ大学 (トルコ)、ビルゼイト大学 (パレスチナ) 他

<本件に関するお問い合わせ>

東京外国語大学 総務企画課 広報係

TEL: 042-330-5151 FAX: 042-330-5140 E-mail: soumu-koho@tufs.ac.jp



東京外国語大学

ヤンゴン Global Japan Office 開所式

■日時

2015年1月30日(金) 10:30～

■会場

ヤンゴン大学 タウンゲー棟 1階 大ホール

住所: University Avenue Road, Kamaryut Township, Yangon, MYANMAR

■主催

ヤンゴン大学(YU)、東京外国語大学(TUFS)

■式次第

10:30- 式典

- 1) 開会の辞 / Opening address
- 2) 来賓挨拶 / Message
 - ミャンマー政府 教育大臣 / Ministry of Education, Myanmar
 - 駐ミャンマー日本国大使 / Japanese Ambassador to Myanmar
- 3) 講演(趣旨説明) / Lecture
 - Aung Thu(アウン トゥー) ヤンゴン大学長 / Rector of YU
 - 立石博高 東京外国語大学長 / President of TUFS

11:30- オフィス開所 テープカット / Ribbon cutting ceremony

■出席予定者

【ミャンマー側】

Aung Thu ヤンゴン大学長

ヤンゴン大学副学長 (4名)

ヤンゴン大学各学部主任教授

【日本側】

東京外国語大学長 立石博高

東京外国語大学副学長 林佳世子

東京外国語大学特任教授 奥平龍二

東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授 岡野賢二

本学 OB/OG (日本人学生、ミャンマー人留学生)

■招待者

ミャンマー教育大臣、教育副大臣、教育省下ミャンマー高等教育局長、

樋口建史駐ミャンマー日本国特命全権大使、丸山市郎公使、安田国彦一等書記官、

東秀明二等書記官、

ミャンマー日本人会会長、ミャンマー日本人商工会議所会頭

■ 立石博高 東京外国語大学長 メッセージ

本学は、建学以来 140 年の歴史の中で、一貫して「グローバル人材」の育成をおこなっており、国際的に活躍する数々の人材を輩出しています。このたび「スーパーグローバル大学創成事業」に採択され、さらなるグローバル化に対応すべく、本学の「グランドデザイン」及び「ミッションの再定義」の理念に基づき、10 年後を見据え、「TUFS ネットワーク中核大学」として 3 つの取組の柱を定めました。

第 1 に、真の多言語グローバル人材を養成する大学

第 2 に、日本から世界への発信を担う大学

第 3 に、世界諸地域の知識・経験をもとに、日本の大学のグローバル化を支援する大学

構想の中で特に注力したいのが「日本の発信力」の強化です。具体的な取り組みとして、海外の協定校に「Global Japan Office」の設置を進め、現地における日本語教育や日本文化の発信の拠点となるもので、世界各地の 38 校への開設をめざしています。これらの拠点は、日本の大学全体の発信力を高めるために、他大学との共同利用も視野に入れていきます。

■ 立石博高 東京外国語大学長 略歴



立石 博高 (Hiroataka TATEISHI) (西洋史、スペイン地域研究)

1951 年 2 月 23 日神奈川県生まれ。

1976 年東京外国語大学外国語学部スペイン語学科卒業、78 年東京都立大学大学院人文科学研究科史学専攻修士課程修了。同志社大学商学部助教授を経て、92 年東京外国語大学に着任、2013 年 4 月学長就任。著書に『スペイン歴史散歩—多文化多言語社会の明日に向けて』(行路社) など。

■ 奥平龍二 特任教授 略歴



奥平 龍二 (Ryuji OKUDAIRA) (ビルマ史・法制史・上座仏教国家論)

1940 年 2 月 3 日兵庫県生まれ。

1965 年大阪外国語大学外国語学部インド語学科卒業、65 年外務省入省、ヤンゴン文理科大学留学、在ビルマ日本国大使館、外務省アジア局南東アジア第二課(ビルマ担当)及び在連合王国日本国大使館勤務を経て、81 年文部省出向、東京外国語大学外国語学部助教授として赴任、1985 年教授、2002 年定年退官、同大学名誉教授称号授与。著書に『ビルマ法制史研究入門』(日本図書館刊行会) など。